



林業の話



箸作り



丸太切り体験とコースター作り



最適な木取りについて



休憩時間に木材を観察



端材についての話

## ねらい

- ・森林が果たす役割について学び、木が生きものを守ったり自然災害を防いだりしていることなどを学ぶ
- ・林業に携わる人々の仕事や思いについて学ぶ

## 取組内容

2日間のプログラムで、初日は森のせんせいから森林の働きや林業について学んだ後に、スギ材での箸作りとヒノキ材の丸太切り体験とコースター作りを行いました。

講座で、森の働きには、水を蓄えきれいにする、空気をきれいにする、土の流出を防ぐなど、様々な役割があることを学びました。そして、林業のサイクルは60～70年で循環していることやその仕事内容について詳しく学びました。

その後、箸作りと丸太を切ってコースター作りをし、木の良さを体感しながら、道具の使い方も学びました。

2日目は、丸太から柱や板などを取る木取りの話を中心に、木取りした材の残りの端材から、具体的にどんなことができるかの話を行いました。もったいないという発想から、端材を活かしての商品開発及び販路拡大への取り組み事例についても学びました。

2日間学んだことは、これからの総合学習の時間で、林業が直面している課題についての解決法を考えるときに活かします。

内容	・森林や林業の話 ・マイ箸作り ・丸太切り体験とコースター作り
時間	1日目 1時間 40分（社会科） 2日目 1時間 30分（社会科）
場所	体育館・5年生教室
対象	5年生児童 95人
講師	森のせんせい：中勢森林組合 森のせんせい：みえもん
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 1日目のコースター作りでは、普段できない丸太切り体験をさせていただきました。初めてノコギリを使う子もおり、勢いよくノコギリを動かす子、力任せに切ろうとする子、なかなか力が入らずに切り進まない子達など様々に楽しんでる様子でした。

2日目には木のいろいろな特徴とその使い方を教えていただきました。特に商品を生み出すためにアイデアを練ったり、試行錯誤するというお話を子どもたちはとても興味深く聞いていました。子ども達の中には「買いたい」とつぶやく子もいました。2日間を通して、子ども達は木をより身近に感じることができ、木と親しむことができたように思います。貴重な機会を頂きありがとうございました。